

# 第3回 恵那市公園在り方検討委員会 会議録

日時：令和5年9月12日（火曜日） 14：30～

場所：恵那市役所会議棟 大会議室

---

1. 開会
  2. 委員長あいさつ
  3. 報告
    - (1) 第2回委員会までのまとめ及びスケジュールについて
    - (2) 市民アンケートの結果について
  4. 議事
    - (1) 公園在り方指針（案）について
  5. 閉会
- 

- 公開又は非公開の別

公開

- 出席者

磯部友彦委員長、坪井弥栄子副委員長、保母鎖利委員、渡辺武彦委員、柘植昭男委員、安藤常雄委員、三宅祥市委員、三宅弘文委員、岩井慶次委員、石垣寿子委員、矢頭重保委員、森岡哲郎委員

- 欠席者

野々山哲史委員、井口里織委員、梅本里美委員、

- 傍聴者

0名

## 開会

大宮住宅課長にて開会の言葉。資料の確認。欠席者の報告。会議の成立を行った。

## 委員長あいさつ

### 磯部委員長

会議も3回目になり、1回目2回目の議論を通してまとまってきた。  
今回はアンケート調査結果に基づいて、さらにどのように進めていくのかを議論したいと思うので、よろしくお願いします。

## 報告（1）第2回委員会までのまとめ及びスケジュールについて（2）市民アンケートの結果について

### 事務局（堀田）

（第2回委員会までのまとめ及びスケジュールについて、市民アンケートの結果について）説明

### 岩井委員

子育てに焦点を向けるのはありがたいし、中央公園のように整備をお願いしたい。そういった施策で考えていくと、子ども達もそうですけど、高齢者も大事だと思う。なので、高齢者の健康、公園を通して健康づくりができないかと思う。また、公園ばかりではなくて、学校の施設、運動場とかも兼務できないかと思う。

### 磯部委員長

公園などを活用して健康とかもいいかなという話でしたが、健康という切り口から見た時の公園の在り方とか背景とかはありますか。

### 事務局（堀田）

アンケートの中に高齢者の方が求めているもので、公園に不足しているものとして健康遊具の意見もありましたので、そうしたものを活かしていく必要はあるかと思う。

### 森岡委員

アンケートを見て思ったが、身近にあれば使うけど、わざわざ出かけてまで使うことはない。つまり公園の必要性はそれほどないんじゃないか。いろんな声が上がっているけど、子育てしているお母さんがちょっと遊びに行きたいな、身近にあればいいな、それぐらいの声だと思う。真面目に公園を作ろうと取り上げている根本的な理由がよくわからない。全国的に見て公園といっても都会とは全く違う環境なので。公園の問題があちこちで出ているけど、それはほとんどが都会なんで、公園はそれほど重要なのか、それよりも自然そのものを活かす政策をとったほうが。何の目的でこれを始めたのか、説明してもらえるといいのですが。  
年代も生活環境も収入も違うし、場所も違う、拡散しすぎちゃって、そもそも公園とは何かという話になっちゃうような気がする。

### 磯部委員長

それを整理しようというのがこの会議だと思います。

### 森岡委員

そういう意味でいうと、まだ全く進んでいない。工程表では来月結論を出すことになっていますが、これちょっと無理なんじゃないですか。

### 磯部委員長

要するにこの会で考える公園はいったい何だ、それも含めてどのようにこの会議を整理していくかを説明していただければいいかなと思います。

**森岡委員** 何公園ではないか、というところから進めると1年2年はかかるので、市の方の本音を言っていたきたい。

**柘植委員** 中野方町には地域の公園がありません。今回も中野方の人たちに聞きましたら、子育て世代、それは一部の人かもしれないけど、そういう人たちが集えるような、子ども達がちょっと遊具で遊べるような公園は欲しいという意見はある。  
これから人口が減少していく中で、子育て世代の人たちがここはいいところだな、と本当に移住してくれる環境を作っていきたいと思っている。町の中の公園だけじゃなくて、地方、地域の公園を今回整備してくれるという話も出ておりますので、私はぜひその方向で進めていたきたいと思っています。

**森岡委員** 地域によってニーズが違うと思う。その地域で公園という言葉にとらわれずに、どんな環境の場所を作りたいかを地域住民で話し合っただけで決定し、予算は市からいただく方向に持っていったほうが良い。例えば川を整備したりとか、ちょっとあそこの辺の広場をちょっと整理したいとか、そういう具体的な話まで持っていく必要があると思う。それは地域の住民でしかわからないことですから。そこで、あんまりよその人間が公園を作りますって言っちゃ、ニーズと合わないようなものができちゃうかもしれない。

**事務局** (長谷川部長) いろんなご意見をいただいておりますが、なぜここに至ったかという経緯を説明させていただくと、建設部の都市整備課では都市公園を管理していますが、他には農政など何らかの補助で作ったものが公園として点在しており、目的も統一感もないところでいくと、公園は平等でないといけないというのが第1にありました。

また、恵那市緑の基本計画を作り、公園を整理しましたが、公園は色々あり、緑地のような公園は広場しかない、遊具もないという中でこれらを整理しなければいけないということで今回集まっていたいただいており、今度はどこに公園をつくろうか、と決めていただくのではなくて、方針としてこういうのが恵那市に必要な、この標準的な仕様に頼るべきだ、というところを決めていただくことと思っている。

市には子育て世代の親から、本当に公園が欲しいという声がたくさん届いている。ここにはいろんな方が来ているが、公園はいろんな方が集まって整備している中で、良いものを作っていただきたいと思うし、皆さんの意見を聞きながらと思っている。今回は、地域の中で皆さんが集えるような公園と、市全体でも必要という、2通りの中で絞っていきたくらいと思っている。後ほど担当から説明しますが、経緯としてはそういったことを考えている。

**坪井委員** 子育て会議から来ていますが、子育て会議のアンケートの中では1番に公園が欲しい、という答えが出ている。中央公園ができた時にすごく喜ばれた人、なかなか来れないけれど買い物へ来たときに寄ってくれる、あれだけの公園があると楽しいとか意見を聞いている。恵那市は自然に恵まれているが、自然の中で山や川へ遊びにいこうかという、なかなかない。でもある程度の地域に1つ公園があればそこへ行こう

かというように公園が集いの場所になることもあるし、介護施設の人たちも緑を楽しんだり、こども園は遠足の場所に使ったり、防災訓練の集合場所が公園になったりと、公園は利用価値がたくさんある。

年代に関わらず1つの集まる場所があるということは、本当に大事なことではないかと思う。市が作るのではなくて、というのはその通りで、地域自治体に降ろしてもらって、意見を吸い上げて、それに合った公園をつくってもらうことが1番大事だと思っている。

**渡辺委員**

若いご夫婦の方からは、公園のニーズはすごく高く、整備された公園があることで子育てしやすい、子育てに優しい町というPRができて、移住、定住にも繋がっていくと思うので、公園在り方検討委員会があることが大事だと思っています。

**矢頭委員**

私は大井町に住んでいますが、中山道大井地区を取り込んだ公園づくりというか、中山道を歩いて見えた方が休む場所や広場や、イベントなどまちづくりにも絡めたようなものがあってもいいかなと思う。

**磯部委員長**

ありがとうございます。報告事項にありますように、調査の結果が上がってきて、利用者のおおよその姿が見えてきたこと、とにかく利用したい、やっぱりこういうのが欲しい、という意見があるのは事実です。

追加の意見として、声があることによる効果、イベントや、移住の人を呼ぶ話とかそういうことにも繋がる、公園があることによっていろんな役割があるというのを意見で出してもらいました。

こういった報告を受けて、全体の方針としてやっていくにはどうしたらいいのか、というのを、今事務局では検討しているので、皆さんと議論したいと思います。

では議事に移って、総合的な議論をしていきたいと思います。

事務局の説明をお願いいたします。

**議事（1）公園在り方指針（案）について**

**事務局（遠山）**

（公園在り方指針（案）について）説明

**岩井委員**

愛される場所づくりというのは手段だと思うので、手段と目的がずれていると思う。全体で見た場合は安心、安全で暮らせるまちづくりとか、そっちじゃないかと思うので、目的としてはしっかりあげてもらって、恵那市としてどうやっていくんだ、というところを述べてもらうとありがたいと思う。

また、夜に照明をしたりすると、観光客がすごい来るので、誘致にも繋がる要素が入ればいいと思うし、マッピングなんかも作ると公園を見ながらおいしいものを食べながらとかできたりするので、恵那市の施策としてはいいのかなと思う。

**事務局（遠山）**

キャッチフレーズについては、岩井委員の意見もそうですし、この後のご意見をいただきながら、きちんと目的を示せるような方向に修正させていただきたいと思う。

公園の考え方について、観光的なところといった話もありましたので、在り方のこの後に、様々な公園の形ということで担当課を含めて検討していきたいと思う。

**岩井委員**

地域にこう整備されるということになるので、例えば他の地区はこういうものがある、例えば棚田があるので棚田の景観を活かしたとか、そうしたことを見やすくしてもらおうとさらにいいかなと思う。

**磯部委員長**

地域資源ですよ。地域資源の活用という。

**保母委員**

公園っていうのは、皆さん集まってくる。建物も集まってくる。自分たちが住んでみると、いろんな形で今度弊害が起きてくるとなると、今度は公園を撤退しなくちゃいけないような形になってしまう。公園ができるかといったときに、地域で考えていかなくはない部分があると思う。まず整備するのか、その場所でいいのかとか考えながら、今あるものを活用しながら、地域で意見しながら徐々に進めていき、地域からどういうものがあるとか要望を出してもらって整備しながらやっていければ、本当に活用されるものになっていくと思うので、地域に解け合う公園づくりをしていかなきゃいけないと思っている。

**柘植委員**

整備の考え方について、地図がついているので、地域に降ろしていただいて、地域の中でもう1回検討する必要がある。あと拠点公園のエリアとか地域公園の場所とか見ると、中野方とかに作ってもらえるのかな、と思っちゃうので、まだこのイメージは出さないほうがいいかなと思うが、この方向性になるのはありがたいと思う。

**坪井委員**

拠点公園と地域公園をいろんなところに作ってもらえるのはすごくありがたいが、それぞれの維持管理は誰がするのか、ということも含めて考えていただきたい。地域でやるのか、市のどこかと繋がって維持管理をやってもらえるかということも一緒に考えてもらわないと、全部地域の公園は地域でみてください、というふうになると、いらぬという地域も出てくるかもしれないので、そこを考えながらやっていただけたらいいかなと思う。+それから、新しい公園をつくるんじゃなくて、現在あるものをいかに利用するか、そんなにお金をかけなくて、備品などにお金をかけてもらうとか含めて考えてもらおうとありがたい。

**三宅祥市委員**

先ほど岩井委員が学校施設の利用できるような方向を示していただけるとありがたいとありましたが、同感でこども園も利用したいなと思う。あと、公園に行くところなことがある、というようなPRが不足している気がする。そうしたPRをするともっと公園の使い方が違ってくるかと思う。

**磯部委員長**

作りっぱなしではなくいかに管理していくか管理のルールが必要という話、新しいものを作るのではなく今あるものを活用する話、教育施設の開放ができるかどうかという話、いいところのPRの話などがありましたが、特に地域公園はとにかく地域のいろんな意見をまとめて形にする話があるので、整備その後の管理、PR、活用とかそういうところも整理しておくといいのかな、という風にはまとまってきたと思う。

**事務局** (長谷川 部長) ご意見ありがとうございました。地域公園については、ぜひとも妥協はしないようにお願いしたい。

公園のニーズはまちまちだと思う。例えば上矢作はミズベリングで水を親しむとか、遊具ではないことをやりたい、ということや、全国的には木育、屋内等もあるので、その辺は考えていかななくてはいけないと思っている。

あと、森岡委員の整備している場所もそこを活用して子供たちがイベントをやるとかも1つの活用方法と思うし、公園のPR不足という意見も、子育て支援の環境づくりということでは公園は1つの要素と思うので、やるべきだと思う。

ぜひともこれを活用していただいて、地域おこしをしていただければと思うので、よろしくをお願いしたい。また、ネーミングライツを募集したらどうか、という話もあるのでPRも兼ねてやりたいと思っている。

**森岡委員** 皆さんと事務局の意見を聞いて、個人的にはイメージがつかめてきたかと思う。集える場所であったり、子育て支援ができたり、地域振興ができたり、まちづくりができたり、そういう人が集まる場所が欲しいということだと思った。

場所を「公園」というと、かなり限定されたイメージが我々に植えついちゃうと思うので、できるだけ公園という言葉は、外して色々考えていけばいい気がする。

**磯部委員長** 公園というのは行政用語で、一般的には広場という言葉がある。

**森岡委員** 広場もいいけど、「集う場所」という考え方はどうですか。

言葉によってイメージが全然変わってくると思うので、できるだけ公園という言葉あんまり使わないようにしたいと思う。

**磯部委員長** 緑の関係を使った言葉として緑地ということもある。それぞれが自分の好きな言葉でこういうことを言っているなと思っていただければいいと思う。

では、最後に事務局で今後の方針も含めてまとめてください。

**事務局** (遠山) 様々なご意見ありがとうございました。本日、いろいろご意見いただきましたので、在り方の指針の案を皆さんの意見を基に少し深めさせていただくのと、地域の公園のお話もございましたので、実際に作る時にはそういった観点から、どのような提案がしていけるのか、地域の声を聞くとか、ちょっと具体的なお話ができればいいかと思えます。また、次回の会議にそういったご意見を伺いさせていただきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

**柘植委員** 今日のこの案の内容は、地域に帰って、例えば地域自治区の運営委員会みたいなものに出してもいいですか。こういう検討が始まったと。

**事務局** (遠山) この会議は公開の会議です。

先ほど公園で、迷惑施設的な話とか、維持管理とかの話の時には、やはり地域の皆さんが場所とか今後の維持管理について合意した上で、その先の提案を受けることも考えられますので、場所も含めて皆さんで議論していただければと思います。

閉会

**事務局** (大宮)

委員長、ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

これをもちまして、第3回恵那市公園あり方検討委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。